

【省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)】

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年6月18日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住所 長野市若里1606

氏名 株式会社 みすずコーポレーション

代表取締役 塚田 裕一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-1671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

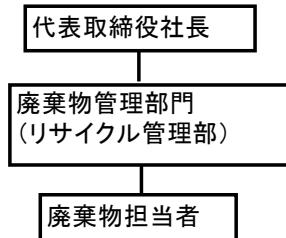
事業場の名称	株式会社 みすずコーポレーション
事業場の所在地	長野市若里1606
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食品製造業
②事業の規模	売上高 21,320百万円
③従業員数	895人
④産業廃棄物の一連の処理工程	<ul style="list-style-type: none"><li>脱水汚泥・おから・残渣→産廃委託→再生利用（堆肥化）</li><li>廃プラ（RPF原料）→産廃委託→再生利用（RPF）</li><li>廃プラ、その他→産廃委託→埋め立て</li><li>廃油→自社再生利用（燃料）</li><li>木くず→産廃委託→再生利用又は焼却</li></ul>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
①現状	排 出 量	60,821.29t	18.90t	976.40t	232.95t	8.60t	65.80t
	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油
	排 出 量				0.50t	12.20t	
	(これまでに実施した取組)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>汚泥乾燥機の運用により、排水処理汚泥を乾燥、菌体肥料として有価販売を実施</li> <li>機械油は有価物として販売実施</li> <li>植物性残渣はメタン発酵原料として有価物で供給実施、飼料化を検討実施</li> </ul>							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
	排 出 量	60,500.00t	15.00t	950.00t	230.00t	8.50t	65.00t
	産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油
	排 出 量				0.50t	12.20t	
(今後実施する予定の取組)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>植物性残渣のメタン発酵原料（有価物化）としての供給を更に推進する。また、飼料化の検討を進める。</li> <li>植物性廃油は更に有価物化を推進する。</li> </ul>							

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>廃プラスチックをRPF原料とその他廃プラの2種に分別</li> <li>植物性残渣を、堆肥化、飼料化、焼却、メタン発酵の4種に分類</li> </ul>
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>植物性残渣のメタン化・減量化のための試験を検討・実施する。</li> <li>植物性残渣の飼料化のための分別及び試験を検討・実施する。</li> <li>植物性残渣のメタン発酵原料（有価物化）としての供給のための分別を更に推進する。</li> </ul>
②計画	

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら再生利用を行った産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

①現状

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら再生利用を行った産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

(これまでに実施した取組)

- ・排水分離油、フライヤー廃油の有価販売化促進

## 【目標】

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら再生利用を行う産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

②計画

(今後実施する予定の取組)

- ・排水分離油、フライヤー廃油は有価販売化を更に促進する。

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら熱回収を行った産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量

60,659.19t

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら熱回収を行った産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

(これまでに実施した取組)

- ・汚泥乾燥機の運用により、排水処理汚泥を脱水、乾燥を実施。菌体肥料として販売実施。

## 【目標】

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら熱回収を行う産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量

60,340.00t

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら熱回収を行う産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量

産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
----------	--------	------	------	-------	--------	------

(今後実施する予定の取組)

- ・さらに汚泥乾燥機の運用により、排水処理汚泥を脱水、乾燥を実施する。

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】						
産業廃棄物の種類	排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤
全処理委託量	160.00t	15.00t	950.00t	230.00t	8.50t	65.00t
優良認定処理業者への処理委託量				140.00t	8.50t	
再生利用業者への処理委託量	160.00t	15.00t	950.00t	90.00t		65.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油
全処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	12.20t	0.00t
優良認定処理業者への処理委託量				0.50t		
再生利用業者への処理委託量					12.20t	
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組)						
※事務処理欄						

※事務処理欄

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類（実績値・計画値）												合計	
		排水処理汚泥	生おから	植物残渣	RPF原料	その他廃プラ	廃脱硫剤	排水分離油	浮上スカム	フライヤー廃油	木くず	その他汚泥	機械油		
排出抑制に関する事項	前年度排出量（実績）	60,821.29t	18.90t	976.40t	232.95t	8.60t	65.80t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	12.20t	0.00t	62,136.64t	
	本年度排出量（計画）	60,500.00t	15.00t	950.00t	230.00t	8.50t	65.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	12.20t	0.00t	61,781.20t	
自ら行う（行った）再生利用に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う（行った）中間処理に関する事項	自ら行う（行った）前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	自ら行う（行った）本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
自ら行う（行った）中間処理により減量する（した）量	自ら中間処理により減量する（した）前年度実績	60,659.19t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	60,659.19t	
	自ら中間処理により減量する（した）本年度計画（目標）	60,340.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	60,340.00t	
自ら行う（行った）埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	162.10t	18.90t	976.40t	232.95t	8.60t	65.80t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	12.20t	0.00t	1,477.45t
		本年度計画（目標）	160.00t	15.00t	950.00t	230.00t	8.50t	65.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	12.20t	0.00t	1,441.20t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	139.00t	8.60t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	0.00t	0.00t	0.00t	148.10t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	140.00t	8.50t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	0.00t	0.00t	0.00t	149.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	162.10t	18.90t	976.40t	93.95t	0.00t	65.80t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.20t	0.00t	1,329.35t
		本年度計画（目標）	160.00t	15.00t	950.00t	90.00t	0.00t	65.00t	0.00t	0.00t	0.00t	12.20t	0.00t	1,292.20t	
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		本年度計画（目標）	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。